

(別紙様式 2 号 別添)

都県内における推進事業取組実施状況一覧表

取組名	事業実施主体名	計画策定時	事業実施後（目標年度）		目標（平成29年度）		事業費（円）	負担区分（円）				目標達成状況 B／A×100	事業主体等による評価結果	都県による点検評価結果（所見）
		被災前 22年度	実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内容（計画）		交付金	都県費	市町村費	その他			
自給飼料生産・調製再編支援	みらいアグリサービス株式会社	(平成22年度) WCS用稲0.0ha 飼料用米0.0ha 計0.0ha	(平成29年度) WCS用稲13.8ha 飼料用米0.0ha 計13.8ha	マニュアルスプレッター1台	(平成29年度) WCS用稲8.0ha 飼料用米1.0ha 計9.0ha	マニュアルスプレッター1台	3,024,000	1,400,000	910,000	0	714,000	153.3%	事業導入機械の利用により、WCS用稲は目標面積を上回る面積に堆肥を散布することができ、安定した収量確保と低コスト化により生産作付面積は拡大した。 一方、飼料用米については、当初参加予定していた飼料用米生産者からの堆肥散布作業委託がなかったため、平成30年度までは堆肥の散布実績がなかった。 平成31年春先に飼料用米自作地に堆肥散布する予定であり、平成31年度には飼料用米作付目標を達成する見込みである。 今後、作業受託の範囲を広げ、WCS用稲及び、飼料用米の作付け、堆肥散布の面積拡大に努める。	事業導入機械の利用により、WCS用稲へ堆肥を散布することができ、WCS用稲の単収確保・低コスト生産が促進され成果目標は達成された。 今後は、関係機関と連携して飼料用米の取組支援を行い、飼料用米およびWCS用稲での堆肥散布による低コスト生産を促進することで、堆肥散布受託農家を増やし、現在の取組が安定的に継続できるように支援する。
							3,024,000	1,400,000	910,000	0	714,000			

(注) 1 別紙様式 1 号の別添 1 に準じて作成すること。
2 「都県による点検評価結果（所見）」には、都県としての事業実施主体ごとの目標達成状況に関する評価を記載するとともに、目標未達成の場合には改善措置の指導の必要の有無を含めた今後の改善指導方策を記載する。